

FC岐阜は多くのスポンサー様に支えられて、様々な広告媒体を通じて宣伝活動しています。皆さんはどんな活動があるかご存知でしょうか？

テレビ・ラジオでの放送としては、スカパーやぎふチャン、NHKでの試合中継やラジオでの試合中継があります。その他に、エフエム岐阜やCCNでも応援番組を放送して頂いています。また、新聞を中心とする媒体では、試合結果だけでなく、ホームタウン活動や試合の告知などを掲載して頂いています。

ホームゲームではホームタウンデーとして各市町村による出展やイベント、企業のサクスマッチの開催などを行い、集客に繋げています。

クラブが持つ媒体としては、ホームページやSNS、チラシ、ポスター、のぼり旗、横断幕などに加え、ユニフォーム、応援グッズなどもクラブをPRするものになりますし、FC岐阜後援会の活動や会報誌といったことも宣伝活動になるでしょう。さらに、クラブが保有しているセカンドチーム、U18、U15のチーム活動やサッカースクール活動もFC岐阜を知って頂き、次世代のためにも重要な活動です。

その他、各自自治体の皆様にもご協力いただき、広報誌や雑誌

への掲載、講演活動も積極的に行っています。

こうした様々な宣伝活動に加えて、岐阜バス様によるラッピングバス3台、日本タクシー様によるラッピングタクシー10台、CCN様のビジョントラックによる試合告知など街中でもFC岐阜を感じて頂ける様に取り組んでいます。

今後の取り組みとしては、最新テクノロジーを活用したチームラボカメラ(オリジナルフレームで撮影した写真を携帯などで楽しめる)をCCN様のご協力によりスタジアムに設置し、撮影体験をしていただくイベントを企画しています。また、スタジアム周辺の雰囲気づくりとして、選手のぼり旗を沿道の店舗などでディスプレイしていただくなど計画中です。

これらはすべてスポンサー各社、県や市町村、店舗などの皆様方の強力なご支援とご厚意によるところが大きく、改めて御礼申し上げます。今後、更にチーム強化とたくさんの方の楽しいイベントの開催によって、こうした協力体制を県内全域に広げていきたいと思えます。そして、より多くの皆様にご支援いただき、常に1万人以上の皆様にご来場いただきプロサッカーの醍醐味をお楽しみ頂けるように尽力して参りますので、何卒よろしくお願ひします。

PICK UP!

## 今月の選手インタビュー FW29 鈴木ブルーノ 選手



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

1. 目指していたJ2の舞台で実際にプレーしているいかがですか？

もっと点もとれると思いますし、自分がゴールを決めたらチームも勝つので、もっとやらないといけないなと思います。ただ、今はあまり試合出られていないので、まずは練習でアピールしていかないと考えています。

2. 試合に出たらどんなプレーをしたいですか？

今やっているシステムは自分が好きな2トップで、1トップと違いフォワード同士が近い位置でプレーできるのでやりやすくなりました。そこで、ラモス監督が言っているワン・ツーとかコンビネーションのプレーをしていきたいです。あとはシュートをどんどん狙っていきたいです。

3. コンビネーションを高めるために普段から気を付けていることは？

フォワードの選手と、動きについて話しています。引いたら、もう一人は裏へ抜けるとか、近くにいるからスルーしてほしいとか2ト

プになってから意識して話をするようになりました。

4. 今までサッカーをやめたいなと思ったときはありますか？

ガンバ大阪のユースに所属していた時にありましたね。ユースの時にトップチームに昇格出来なくて、高校3年生の8月くらいにみんな進路が決まっていく中、自分だけ決まらないし、もうサッカーをやめて地元戻ろうかなと思っていました。しかし、10月くらいになって、やっぱりサッカーをしたいという気持ちになり、地元の社会人チームを受けに行きました。住むところなども決めて、ほぼそのチームに決めた頃に、高校生最後の「Jユースカップ」という全国大会で、優勝したんです。

最後の大会だから頑張ろうと思ってプレーしていたら、この大会でハットトリックなど多くのゴールを決めたこともあり、J1のアルビレックス新潟からのオファーを頂き、行くことに決めました。それから一度もやめたいと思ったことはないです。

新潟では、試合に出られず腐ることもありました。

でも自分にはサッカーしかないと思い乗り越えられました。